



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)



「高齢者あったか推進のつどい」について

問 9月の敬老月間に合わせ、多年にわたり地域に尽くされてきた75歳以上の高齢者を敬愛し、長寿を祝福することを目的に、各町が催し、その経費の一部を市が負担し、開催されている。市内対象者が8,000人を超え、高齢化が進む中、各町主催者の負担や参加できない方への配慮などを思う時、見直しを考えなければならない時期ではないか。

また、開催に当たって、市から各町への委託料は1万円プラス参加者一人につき1,400円だが、17

年間据え置きとなっている。物価が高騰する中、市の対応は誠意が感じられない。出席率が低い町も多く廃止でもよいのではないか。

そこで、見直し案の提案として、
①75歳から80歳に引き上げる。
②お祝い品に市長のメッセージをつけ、民生児童委員さんらに訪問をしてもらってはどうか。

答 (市長) つどいについては、私も経験していますが、自治会役員の負担は大きいと感じます。ただ、記念品を配るだけでは絆が薄れるため、催しも開催できるのが望ましいと考えます。今後、区長会と意見交換して開催方法について考えたいと思います。

また、委託料の追加の支給についても検討の必要があると考えます。

問 市民養老金の支給について、88歳の方に5千円、100歳の方に1万円となっているが、他市に比べあまりにも少ない。もう少し高額でもよいのではないか。高齢者目線の提案になるが、今後、検討をお願いしたい。

答 (市長) 近隣市に比べ、非常に少ない額となっています。近隣市を追い超す必要はないと思いますが、肩を並べるぐらいにはしたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・シルバー人材センターについて
- ・水道料金基本料免除の延長について
- ・「5つの無料」のうち給食費について



深田 照明 議員
(清流会・かさいを育む会)



地域道路の整備推進と通学路の安全性向上をめざして

問 市道中野網引線はとても狭く、通学路としては危険である。拡幅工事の進捗状況は。

答 平成31年度に通学路の安全確保事業として国の採択を受け、事業着手しました。令和4年度に用地測量と歩道整備108メートルを実施し、今年度は用地買収の計画でしたが、国からの事業費割当てが少なく休止しています。令和8年度完成を目指して今後も国・県に対して積極的に予算要望し、早期に児童の安全確保が実現できるよう取り組みます。

問 市道中野家塚線の拡幅工事の進捗状況は。

答 市道南側の拡幅は令和3年度に完成しています。現在、市道北側の拡幅方法等を検討しており、設計が固まり次第、工事を実施します。

問 市内全域で道路の白線等の整備を急いでほしい。

答 市内全域で中央線や路肩線、横断歩道の白線が薄くなっていることは道路パトロールや地域からの要望で把握しています。白線引き直しは交通反則金充当事業として実施していますが、需要を満たしていないため、修繕予算を確保して集中的に取り組みたいと考えます。横断歩道は警察機関所管のため、すぐに対処できませんが、引き続き、学校や地元の協

力を得ながら、適正な交通環境の整備に向け、協議、要望を継続したいと考えます。

問 歩道の植え込みの草が伸び放題となっている。どのように管理しているのか。

答 年に一度、造園業者やシルバー人材センターに委託して剪定作業や草刈りを行っています。最近の気温上昇で草の伸びが早く整備が間に合わないところもあるため、追加剪定も行い交通に支障がないよう努めています。また、県道については県へ整備の推進を要望しています。

■その他の質問項目

- ・高齢者等見守り事業について
- ・空き家を活用した人口増への取り組み